

「学校だより」

新沢っこ

2022年 1月号

檀原市立新沢小学校

電話 27-4163

(ホームページにはカラー
で掲載しています。)

夢は叶う

口偏に十と書いて叶う

「+ (プラス)」と「- (マイナス)」の両方で「吐」く
「- (マイナス)」を除けば「叶」う

十人に伝えれば、応援をしてくれる人が十人増える
たくさんの方の応援をがんばるエネルギーに変えて
ただ、前を向いて努力するのみ
そうすれば必ず夢は叶う

新年あけましておめでとうございます。

干支の「寅」という漢字は、日頃よく見る「虎」という漢字ではないことを不思議に思っている方も多いのではないのでしょうか。そもそも干支の十二支は、本来古代中国で、農業に利用され、農作物の生育に関わる暦として利用されていました。その暦は十干(甲・乙・丙・丁…)と十二支(子・丑・寅・卯…)の組合せによって成り立っており、10と12の最小公倍数が60であることから、一回りするのには60年かかることとなります。そこで一回りする60歳のお祝いを還暦とよぶのだそうです。正確に

は、今年(壬寅)は十干の「壬(みずのえ)」と十二支の「寅(とら)」によって成り立つ「壬寅(みずのえとら)」の歳ということになります。これらの暦は方角や時刻、月・日を表すものとして用いられてきたものであり、十二支の子、丑、寅、卯…亥には動物の意味はなく、小さな子どもでも十二支を覚えやすくするために、身近な動物が当てられたということです。なぜ寅「とら」なのかという明確な理由はありません。ただ「壬」や「寅」に意味をあてはめ、未来を占ったということです。その意味からすると、「壬」はもともと「妊娠」の「妊」の一部であることから「生まれる」という意味です。「寅」は「演」が由来と言われ「人の前に立つ」という意味を持っています。この2つの組み合わせである「壬寅」は、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」といった縁起の良さを表しているといえそうです。

これは単なる中国から伝わる陰陽五行に基づく考え方であり、こういった根拠のない言い伝え(迷信)に決して振り回されることはあってはならないということを申し添えますが、今の私たちの状況にあてはめて考えてみると、【今はじっとコロナ感染拡大を耐え忍び、まもなく来る明るい未来に希望を持って、みんなで立ち上がり成長する年】ということになるのでしょうか。今年もみなさんとともに手を携え、明るい未来を切り拓いていきましょう。



感染拡大防止に向けて私たちの行うことは、同じ!!

新型コロナウイルス感染拡大に関わって、オミクロン株の感染力の強さによる第6波がたいへん心配な状況です。学校においては、引き続き感染拡大防止に向けて最善を尽くしながらも子どもたちに効果的な学びを進めてまいりたいと思います。ご家庭におかれましてもご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。



尚、万が一児童およびご家族の方の感染（濃厚接触者含む）がわかった時点で学校までご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

お子様の登校についての判断については、下記のお知らせを参照下さい。

※2021.10.28 登校の判断基準

【新沢小学校ホームページ掲載・・・新沢小学校 トップページを下にスクロール】

世界寺子屋運動にご協力お願いします



世界には学校に行けない子どもが約1億2,100万人（うち初等教育では約5,900万人）、文字の読み書きができない大人（15歳以上の成人）が約7億7,300万人（2020年12月現在）います。

「世界寺子屋運動」は、国際識字年（1990年）をきっかけに日本ユネスコ協会連盟によって始められ、文字の読み書きができない人たちに「学びの場=寺子屋」を提供し、教育を支援する運動です。

住所や氏名を書き間違え、ポストに投函しなかった官製はがきを集め、教育の機会に恵まれなかった方への教育支援に役立てるものです。集まったハガキは、(社)日本ユネスコ協会連盟（東京・渋谷区）に送られ、仕分け後、切手になり、そして企業などの協力で換金された後、アフガニスタン、インド、ベトナムなど多くのユネスコ・世界寺子屋運動支援地で活用されます。

学校にハガキ収集箱を用意していますので、書き損じの年賀状などがございましたら、子どもさんに持たせてください。

63円の書き損じハガキは、58円の募金になります。

新沢小学校ホームページがリニューアルしました。

旧ホームページにリンクを貼っています。

もしくは檀原市⇒メニュー⇒教育⇒小学校⇒新沢小学校で検索できます。校長室の窓も引き続きよろしくお願いいたします。

